

令和8（2026）年度 特待生選抜（探究型）第二次プレゼンテーションの評価【ルーブリック評価】

評価軸	評価項目	観点の説明	評価の基準			評価点
			【高く評価できる】 3点	【評価できる】 2点	【あまり評価できない】 1点	
【関心・意欲】	評価項目 1	研究・社会活動などの体験を通じて課題を設定し、その課題を解決する必要性に対する積極的な意識を持っているか	本人自身の研究・活動体験を通じて課題を設定し、積極的な課題解決の必要性を意識している。	専ら文献調査や他者に追従することで得られた課題設定であるが、課題解決の必要性を意識している。	課題設定の根拠が不十分である。あるいは、課題解決への意識や理解が十分でない。	3 2 1
	評価項目 2	設定した課題について、その解決や新たな発見に向けた取り組みが実社会においてどのように、かつ、どの程度行われているか、把握しているか	設定した課題の解決や、新たな発見に向けた取り組みが実社会において、どのように、かつ、どの程度行われているか、正確に把握している。	設定した課題の解決や、新たな発見に向けた取り組みが実社会において、どのように、かつ、どの程度行われているか、ある程度把握している。	設定した課題の解決や、新たな発見に向けた取り組みが実社会において、どのように、かつ、どの程度行われているか、十分に把握していない。	
	評価項目 3	設定した課題について、社会や人類が抱える問題点や、これまでの社会の取り組みに見られる欠点を意識し、合理的に批判しているか	合理的に批判している	批判する意識を持っているが、合理的根拠が十分でない	批判する意識が不足している、または、批判についての合理的根拠が十分でない	
	評価項目 4	自らが批判する問題点について、先行研究等に示された立場や考えを理解しつつ、積極的に問題解決に取り組もうとしているか	先行研究等に示された立場や考えを理解しつつ、積極的に問題解決に取り組もうとしている	先行研究等に示された立場や考えを理解しているが、問題解決に積極的に取り組む意識が不足している。	先行研究等に示された立場や考えを理解できていない、または、問題解決に積極的に取り組む意識が不足している。	
【思考・判断・表現】	評価項目 5	明確な問題設定のもとに研究方法を考え、研究計画を立案することができたか	明確な問題設定のもとに研究方法を考え、研究計画を立案している	問題設定、あるいは、研究方法のいずれかに不完全な点がある	問題設定、および、研究方法のいずれにも不完全な点がある	3 2 1
	評価項目 6	客観的かつ合理的な方法で必要な情報を抽出・収集したりしたか	インターネット、書籍、自身による調査・実験のいずれにおいても出展や調査・実験方法が明確、客観的かつ合理的であり、必要な情報を抽出・収集している	出展や調査・実験方法の客観性や合理性、または、必要な情報の抽出・収集のいずれかに不備や疑問がある	出展や調査・実験方法の客観性や合理性、および、必要な情報の抽出・収集のすべてにおいて、不備や疑問がある	
	評価項目 7	収集した情報を合理的に整理し、たとえばグラフ、図表等を用いるなどして効果的に提示しているか	情報を合理的に整理し、全般的に効果的に表示している	情報を合理的に整理し、効果的に表示しているが、改良すべき点が見受けられる	情報を合理的に整理できておらず、かつ、効果的に表示できていない	
	評価項目 8	収集した情報を、客観的、かつ、論理的に分析しているか	客観的かつ合理的に分析している	分析の方法に、客観性、または、合理性に欠ける部分が見受けられる	分析の方法には私見が多く含まれ、客観性や合理性に乏しい	
	評価項目 9	自らの気づきや発見、自分の考えなどをわかりやすくまとめ、判断し、表現しているか	自らの気づきや発見、自分の考えなどをわかりやすくまとめ判断し、表現している	自らの気づきや発見、自分の考えは見受けられるが、わかりやすくまとめきれない、あるいは、判断や表現に改善すべき点がある	自らの気づきや発見、自分の考えにとぼしく、かつ、わかりやすくまとめきれない。	
	評価項目 10	課題解決を目指して事象を多面的に比較し、因果関係を考察しているか	課題解決を目指して事象を多面的に比較し、因果関係を考察している	事象の多面的な比較、あるいは、因果関係の考察に不十分な点が見受けられる	事象を多面的に比較できておらず、かつ、因果関係を十分に考察していない	
	評価項目 11	先行研究等に示された立場や考えを尊重しながら、積極的、かつ効果的なプレゼンテーションをしているか	先行研究等に示された立場や考えを尊重しながら、積極的、かつ効果的なプレゼンテーションをしている	先行研究等に示された立場や考えを尊重する姿勢がみられるが、プレゼンテーションの積極性や効果に改善すべき点が見受けられる	先行研究等に示された立場や考えを尊重する姿勢に乏しく、プレゼンテーションの積極性や効果に改善すべき点が多い	
【知識・技能】	評価項目 12	正確な言語表現によるプレゼンテーションであるか	正確な言語表現によるプレゼンテーションである	言語表現に不正確な用語や表現が一部含まれる	言語表現が総じて不正確である	3 2 1
	評価項目 13	提示するプレゼンテーション資料の表現は正確であるか	資料の表現が正確である	資料の表現に不正確な点がある	資料の表現が総じて不正確である	
	評価項目 14	設定した課題と関連する知識を十分に習得しているか	設定した課題と関連する知識を十分に習得している	関連する知識の習得に不十分、または、不正確な点が見受けられる	関連する知識の習得が不十分である	
【主体的に学習に取り組む態度】	評価項目 15	今後の課題について明確に意識し、学習や生活に生かそうとしているか	今後の課題について明確に意識し、学習や生活に生かそうとしている	今後の課題について意識が不足したり、学習や生活に生かそうとする意欲が不十分である	今後の課題について意識しておらず、学習や生活に生かそうとしていない	3 2 1

合計点	
-----	--

総合得点 100/45	
----------------	--